

## ボストン・チャレンジ・プログラム

---

今年度から講義科目として直ちには実現が難しい内容の活動ではあるが、アントレプレナーシップ教育の幅を広げるためにいくつかの新しい取り組みを試み始めた。いずれもアントレプレナーシップ教育の一環ではあるが、学生が主体となる実践教育として、謂わばVBL「課外活動」編と言うべき内容である。大学の講義室、研究室の外にでる事で社会との関わり合いを重視した新たな取り組みである。特にボストン・チャレンジ・プログラムは、グローバルな視点を養うことを目指した新たな取り組みであり、今年度の試みを概観し、次年度以降どのように継続すべきかを考えていきたい。

横浜国立大学成長戦略研究センターベンチャービジネス部門は、本年度、**Boston Challenge Program** と呼ぶ取り組みを始めた。内容は、起業を目指す学生、また自らの研究で学際的、国際的広がりを目指す学生を対象として、米国ボストンに1ヶ月滞在し、ボストン市内・近郊にある大学、研究機関、国際機関、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタルなどの企業の訪問やイベントに参加することでグローバルな視野や考え方を身につけるためのチャレンジを支援するプログラムである。決まり切ったツアープログラムへの参加や語学研修することとは違い自らが企画して海外で新しいことにチャレンジするプログラムを目指した新しい取り組みである。今回は、全員大学院生で留学生2名と国内生2名の4名を13名の学内応募者から選び、事前に訪問先の調査・選定、連絡、事前勉強を行った上でボストンを訪問した。12月から1月まで、毎週、進捗確認・問題解決などのためにミーティングを教員と行った。

ボストンでの滞在期間は、2月1日から3月1日の1ヶ月間で、活動拠点を **Cambridge Innovation Center(CIC)**とし、ここに学生用にオープンスペースと教員用の小部屋を借りた。

ボストンでの活動は、各自の計画に基づく訪問などと全員が参加する共通プログラムからなる。共通プログラムは、講義、共通の訪問、成果報告ワークショップ開催からなる。

### ①共通講義

講師: バブソン大学 山川恭弘 准教授

講義名:アントレプレナーシップ

講義内容

2/4 (W) 1:00-4:00pm CIC 4F calcatta

Session 1. What is Entrepreneurship? Classic & emerging concepts  
in the world of Entrepreneurship.

Session 2. Course plan. Where do we start? Understanding self.  
What is an opportunity? Intro to idea generation.

2/11 (W) 1:00-4:00pm CIC 4F calcatta

Session 3. Design thinking as process to innovation.

Session 4. Feasibility assessment.

2/20 (F) 3:00-6:00pm CIC 11F Tokyo

Session 5. Market entry: Positioning (using the Swatch case).

Session 6. Student rocket pitch + feasibility presentation

+ my session on learning from failure.

この講義のための事前予習教材として下記の文献が与えられた。

[1] "The Timmons Model of the Entrepreneurial Process" (2006)

by Stephen Spinelli, Heidi Neck, and Jeffrey Timmons.

[2] Jim Poss [Babson College Case].

[3] "Design Thinking" (2008) by Tim Brown. Harvard Business Review,  
86(6), 84-92.

[4] "The Birth of the Swatch" [HBS 9-504-096].

以下の囲みは、山川先生から送って頂いた、講義内容の紹介です。この講義では、何を問題として何を学ぶかの概要が示されている。

講義後に山川先生と学生達



## Introduction to Entrepreneurship

Yasuhiro Yamakawa, Ph.D. Babson College Entrepreneurship Div.

“Everything we have by way of modern convenience and technology was enabled directly or indirectly by an entrepreneurial process/endeavor...”

The main objective of this 3-day program is to introduce students to the world of entrepreneurship, and explore series of questions in the world of entrepreneurship. What is entrepreneurship? Who is an entrepreneur? Are you? How do you generate ideas? How do you evaluate an opportunity? What does it take to become a successful entrepreneur? What if you fail?

We explore these questions through a combination of theory and practice.

Learning goals will be met through (a) lectures of classic and emerging concepts in the field of entrepreneurship (e.g., risk and uncertainty, causation vs. effectuation), (b) activity-based sessions and case discussions supported by (c) guided readings and self-study materials (including homework assignments).

Students will explore various idea generation methods/techniques, as well as ways to evaluate an idea (e.g., assessing feasibility and impact), and shaping/reshaping it into an entrepreneurial opportunity (e.g., market research).

“Entrepreneurs can change the world.”

So can you. After taking this course, students will have cultivated the confidence to take action.

## ②共通活動

### (1) ベンチャー企業訪問

実施日時：2月6日 17時～19時

訪問先: Boston Strategics, 214 Union Wharf, Boston, MA 02109

CEO 古屋圭三氏（富士フィルム鈴木武明氏の紹介による訪問）

内容:製薬ベンチャーの活動

ボストンで薬学関係のコンサルタントとして活躍中で、富士フィルム現地法人のアドバイザーであり、かつ自身も起業経験豊富な古屋圭三さんに自身の体験を主体とする、日米での起業についてのご講演と議論をお願いします。当方参加の学生も、自身の専門あるいはボストンでの活動（計画）について報告し、議論する。



Boston Strategics 古屋圭三氏 訪問

## (2) 産学連携機関

実施日: 2月3日 14:00- 15:20

訪問先: MIT Industrial Liaison Program Robert Karp 氏

内容: MIT における産学連携の仕組みと日米比較



MIT ILP Robert P. Karp 氏 訪問

## (3) 研究室訪問

実施日時: 2月25日 14時~16時

訪問先: MIT Prof. Suzanne Berger

内容: Discussion about making in America

事前に"Making in America from innovation to market"の予習が指示された。

## (3) 成果報告ワークショップ

日時: 2月27日(金)17時~19時 その後懇親会を開催

場所: CIC 14F Charles (定員 18名)

内容: 学生のボストンでの活動成果を発表

ボストンでお世話になった方々やボストン在住の日本人研究者 10名が参加



## ③各自の特徴的な活動

(1) 国際社会学府 国際経済法学専攻 博士課程後期1年 バスネット・エソダ

ボストン・チャレンジ・プログラムで一つの目的は、海外で初めて研究報告することにしていました。そのため、ボストン大学の大学生と事前連絡して。大学の Boston

University, The Center for Gender, Sexuality and Activism で研究報告会を開催しました。約 15 名の学生さんと教授が参加してくれて、大変興味深く私研究内容について聴いてくれました。参加者は授業があると途中で出られた方もいましたが、最後まで残ってくれて、私の発表の後に、積極的に質問や意見を話す生徒と教授がいらして、とってもいい経験となりました。約 1 時間半のプログラムで、参加してくれた学生さんが自たちの研究や経験について話してくれた。この発表会を通じて、女性のエンパワーメントについて研究している先生と知り合いになったり、アメリカではじめての友達ができ嬉しいです。大変貴重な体験になりました。

(2) 工学府 物理情報工学専攻 博士課程前期 1 年 山崎貴大

2015 年 2 月 13 日 (金曜日) 9 時からブリガム・アンド・ウィメンズ病院にて、徳田淳一先生へのインタビュー

医用画像工学の専門家として医療現場に携わり、実験を行っている徳田先生にインタビューを行った。画像誘導を用いた研究と手術を連携させたアミーゴという研究施設の見学と医工連携治療における現状とその制度についてのインタビューを行った。手術を行う際に、MR で確認しながら治療を行うことで、低侵襲かつデータの取得にも効率的であり、今後の治療精度の向上と信頼が期待できるものである。アメリカでの治療現場の最先端で活躍されている徳田先生から生の現場の声を聞くことができ、自分の研究を進める手がかりにもなった。



@Brigham and Women's Hospital の  
AMIGO 室内の様子

(3) 国際社会学府 経済専攻 博士課程前期 1 年 李建平

Interview Date: Feb.18TH (30 minutes)

Interview Place: Office of Peabody Museum of Archaeology & Ethnology

Interviewee: Ms. Jane Pickering, Executive Director of Harvard Museums of Science & Culture

Interviewer: Jianping Li , Master of Economics Yokohama National University

Content:

The director told me about the structure of the museums, the way they communicate with the public, evaluation criteria of items, how the museums are financed and the recruitment policy of the museums.



After talking with Ms. Pickering and taking a quick look at two of the museums I guess the museums not only serve the Harvard Community effectively but also play an important role in offering people in Cambridge Community huge spiritual enjoyment and abundant source of research.

@Peabody Museum

(4) 工学府 機能発現工学専攻 博士課程前期1年 三好萌栄

MIT Harvey 教授訪問

2015/02/12 (木) 13:00-18:00 に MIT の building(3)で Department of Civil & Environment Engineering, Parsons Laboratory の Charles F. Harvey 教授主催のヒ素の実地調査報告とその分析についてのミーティングに参加した。参加者は 10 名強で



Columbia 大学の学生と Harvey 教授の研究室の学生。主に中国とバングラディッシュのヒ素汚染の現状についてであり、自分の研究を生かすためにはどうすべきかを考えるきっかけになった。また日本と異なり、研究発表中に質問が飛び交い、議論が盛んであった。積極的にミーティングに参加する態度を見習いたいと思う。

@MIT Prof. Harvey

#### ④ CIC のイベント VentureCafe へ参加

CIC では毎週木曜日の夕方から VentureCafe と呼ばれるイベントを行っている。このイベントでは、CIC に入居しているベンチャー企業などと外部の企業、VC とのマッチングを行い、ビール、ワインも出て大変な賑わいである。

